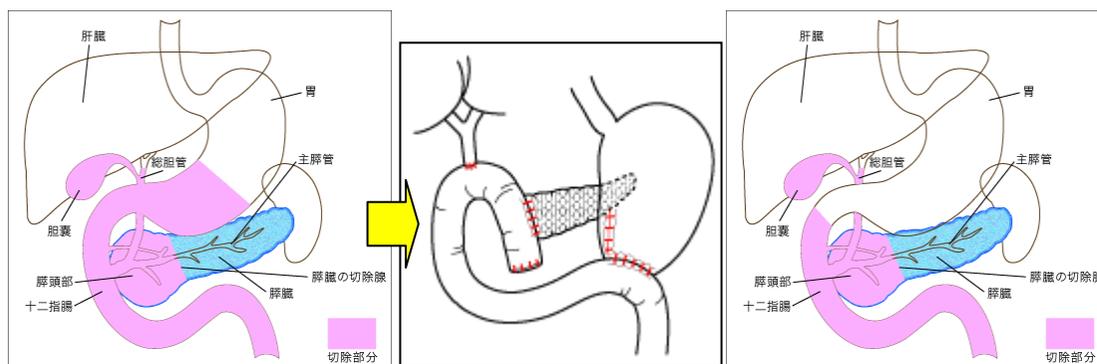


膵頭十二指腸切除術後の食事について

手術を受けた後には、食べ方に注意しながら食べましょう。

膵頭十二指腸切除術とは

膵頭部と胆のう、総胆管、十二指腸、胃を切除し、胃と空腸を直接つなげますので、食べ物が急激に腸へ流れてしまいます。



ダンピング症候群

早期) 急に食事が腸に流れ込むため、食直後から 30 分以内に冷や汗、倦怠感が起こることがあります。

→ 少しずつ、ゆっくり食べることが大切です。

後期) ホルモン作用により、食後 2 時間頃に震えやめまい（低血糖症状）が起こることがあります。

→ 起こってしまったら、砂糖や甘いものを食べる等して、対処します。予防には食後 2 時間後くらいの間食が効果的です。

手術後は・・・

食事が始まるまでは点滴などが処方されます。原則は流動食から始め、段階を追うごとにかたくしていきます。特に食べてはいけないものはありませんが、食べ方に注意する必要があります。あせらず、少量を小分け（分割）にして食べるようにしましょう。食べ方の注意点は、良くかむこと、一度にたくさん食べすぎないこと等の工夫が必要となります。

術後の食事はこのような順に進みます（主食）

重湯 → 3分粥 → 5分粥 → 7分粥 → 全粥 → 軟飯

* 身体の状態によって変わることもあります。

重湯期

食事が始まって間もないときは、無理せずに食べられるだけにしてください。流動食でも噛むように、ゆっくりと時間をかけて食べます。

三分かゆ～七分かゆ期

病院で付くカステラなどの菓子類は、食間（10：00、15：00 頃）に食べていただく為に、提供しています。病院では汁物なども出ますが、先に栄養価の高い主菜（おかず）を食べてから食べるなど、水分でお腹がふれないように工夫することも大切です。

全かゆ～軟飯期

食事は段階ごとにかたくなっていきます。食事を選択メニューになります。原則として食べてはいけない食品はありませんが、しばらくは消化のよい食品を選ぶようにしましょう。水分が少ない分、栄養価も増えますが、消化をよくする為にも、よく噛んでゆっくり食べるようにします。